

危機管理士1級 勉強会レポート

2022年6月11日（土）

危機管理士1級取得者4名の方に、Zoomを使用したオンラインによる研究発表をしていただきました。

■「八丈町役場での防災行政に対する 効率化・高度化支援の検証」

中尾 毅様（株式会社オリエンタルコンサルタント）

「情報マネジメント」を通じた防災行政（特に避難所運営）の円滑化、高度化を目的に、直前対策から災害応急対策のフェーズに着目し、問題点と課題を整理し、課題解決の方向性を提示されました。さらに、各避難所から対策本部への報告、対策本部での情報一元化、各避難所の開設状況や混雑状況の共有など、5つの解決策を提示し、八丈町（東京都）への導入・災害対応での実践などにより、効果の総括的な検証を行い、今後は防災マネジメントシステムを活用した防災行政の支援を行っていくとのご発表をいただきました。

■「危機管理を体現する BCP 実践事例」

木村康弘様（ナブテスコ株式会社）

危機管理手法の BCP を事業継続力と再定義した上で、同社の BCP 実践事例を紹介されました。具体的には、同社の重要業務である「ものづくり（生産）」においては、全9工場でレジリエンス認証を取得したこと、「ものあつめ（調達）」においては、主要サプライヤーを対象に BCP 支援を実施したこと、さらに、主要サプライヤーの BCP 支援では、BCP 人材育成も行い、これらの結果を企業 PR と BCP プレゼンス向上のため広報活動に活用していることなどをご発表いただきました。

■「医療機関における BCP(自然災害・感染症) の策定と更新について」

伊藤聖子様（行政書士エム・アイ法務事務所）

同事務所による医療機関（一般診療所）の BCP 策定サポート事例より、事例医療機関の BCP 策定・更新のポイントを提示するとともに、新型コロナ感染症に備えた感染症 BCP の策定・更新について、コロナ禍での策定過程と感染症 BCP の今後の活かし方について発表されました。さらに、これらを踏まえて、まとめとして、医療機関における BCP 策定支援について、従業員自身が災害対応力の必要性を感じる必要があること、必要ツールも必要性を感じ、

訓練などで現場の意見を取り入れて更新すべきことなどをご発表いただきました。

■「中小河川増水時における AI による流量検知」

野田 明様（富士通株式会社）

近年の異常気象に伴う災害の増加において、中小河川の急激な増水による被害が増加し、気が付いた時には避難が困難になっていることを背景に、実証実験の場「ひろしまサンドボックス」を活用して、中小河川の水位を予測する AI モデルを活用し、危険度予測マップ等を公開したこと。さらに、過去の雨量、少量の降雨でも、リアルタイムに予測可能な「AI 水管理予測システム」を開発した経緯について、実験の様子や実験データも示しながらご発表をいただきました。

コロナの感染拡大により、今年度も Zoom での開催となりました。

この 1 年で Zoom が身近なものとなり、多くの 1 級会員の方にご参加いただきました。

皆様のご協力、誠にありがとうございました。